



年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正 隆

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般にわたるご理解とご協力に対し、心より御礼申し上げます。

昨年は、大きな災害もなく平穏な一年であったかと思いますが、常に防災意識を高め、危機感をもって取り組む体制づくりが大事です。

消防防犯拠点である消防庁舎が昨年の十二月に完成し、業務を開始しております。消防庁舎を防災の拠点として、迅速に救助を行える体制が整いました。

今後いつも住民の安全・安心を第一に考え、豊かで住みよいまちづくりの実現に向かってより一層の努力をして参ります。

吉備中学校の改築も昨年三月末に完成し、子育て支援と子どもたちが安心して勉学に励むことができる体制が確保されました。大きな災害が発生した時には、町民の皆様の避難生活をする場所として活用いただけます。

道路網整備なくして町の発展は考えられないと思っております。待望の岩野河バイパスも昨年2月に竣工しました。国道・県道の整備を強く国・県へ働きかけ、地域の活性化に努めてまいります。

昨年11月には、有田川町の大きな事業として「第19回全国棚田（千枚田）サミット」を開催いたしました。全国から約830名の参加をいただき盛大に開催することができ、意義深い大会となりました。これも町民の皆様はじめ関係各位のご協力のお陰と感謝しております。

このサミットを契機に、先人たちより守り受け継がれてきた棚田・段々畑を将来へ継承するため、それらの持つ価値を再認識し、保全活用や観光振興に対する意識の向上と町の発展につなげていきたいと考えています。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成二十六年新年のごあいさつ

有田川町議会議長 湊 正 剛

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆様のご支援により、議会活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。

平成18年にスタートした有田川町も誕生から丸八年がたち、今年で九回目の春を迎えることができました。皆様方のご協力と温かいご支援により、新しいまちづくりが着々と進んでおります。

さて、昨年を振り返りますと、さまざまなことがありました。当議会においては、一月に楠部重計議員が、十月には坂上東洋士議員がお亡くなりになるという衝撃的な出来事があり、議員一同、言葉に言い尽くせないほどの深い悲しみに包まれました。そして、国政においては、参議院議員選挙の結果、国会におけるねじれが解消し、わが国にとって歴史的な転換の年となりました。

また、国の内外では大きな風水害が発生し、被災された方も多くおられました。そういった状況のなか、本町においては、昨年末に待望久しかった新消防庁舎が完成し、ここは町民の安心安全な生活を守り、災害に対する消防防災の拠点となるものと期待しているところであります。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、わが町においても今後ますます厳しい行財政運営が余儀なくされることでしょう。そうした中にも町政に反映させるべく、議会としても全力を尽くしてまいりたいと思っております。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆様にとりまして明るくすばらしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。